

**令和5年（2023年）6月2日に  
四国地方、近畿地方及び東海地方で線状降水帯が発生した事例**

---

令和5年6月 気象庁大気海洋部

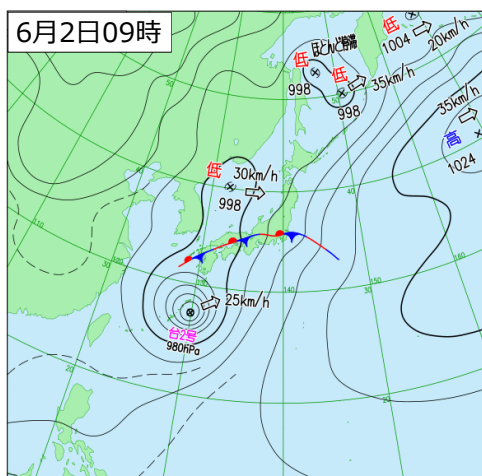
# 気象の概況及び線状降水帯に関する情報の発表状況

## 【気象の概況】

- ・梅雨前線が6月1日から3日午前中にかけて本州付近に停滞した。前線に向かって台風周辺の非常に暖かく湿った空気が流れ込んだため、2日には前線の活動が活発になった。
- ・西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、高知県、和歌山県、奈良県、三重県、愛知県及び静岡県では線状降水帯が発生した。

## 【線状降水帯に関する情報の発表状況】

- ・6月1日夕方から2日午前中の気象情報にて、中国地方には2日午前中から午後にかけて、四国地方、近畿地方には2日午前中から夜にかけて、東海地方には2日午後から3日午前中にかけて、関東甲信地方には2日夜から3日午前中にかけて、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した。
- ・6月2日に高知県、和歌山県、奈良県、三重県、愛知県及び静岡県を対象に顕著な大雨に関する気象情報を発表した。



### 顕著な大雨に関する気象情報の発表基準

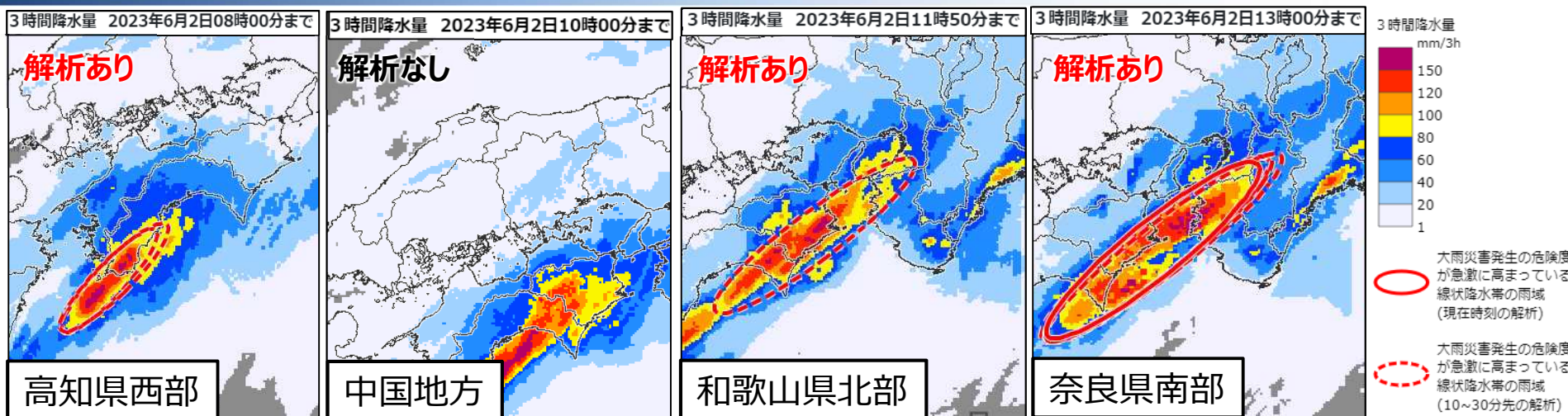
現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表

- ① 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分布域の面積が500km<sup>2</sup>以上
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
- ④ ①の領域内の土砂キキクル（大雨警報(土砂災害)の危険度分布)において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）において警報基準を大きく超過した基準を超過

## ○ 線状降水帯に関する情報の発表状況

地方	半日程度前からの呼びかけ	顕著な大雨に関する気象情報
中国	6月1日16時00分	なし
四国	6月1日16時01分	6月2日08時10分（高知県西部） 6月2日11時22分（高知県西部）
近畿	6月2日05時51分	6月2日12時01分（和歌山県北部） 6月2日13時10分（奈良県南部）
東海	6月2日05時13分	6月2日15時40分（三重県南部） 6月2日15時51分（愛知県東部） 6月2日16時10分（静岡県西部） 6月2日16時51分（静岡県中部、西部） 6月2日19時51分（愛知県東部） 6月2日20時21分（静岡県西部） 6月2日21時00分（静岡県中部、西部）
関東甲信	6月2日11時09分	なし

# 線状降水帯の解析状況

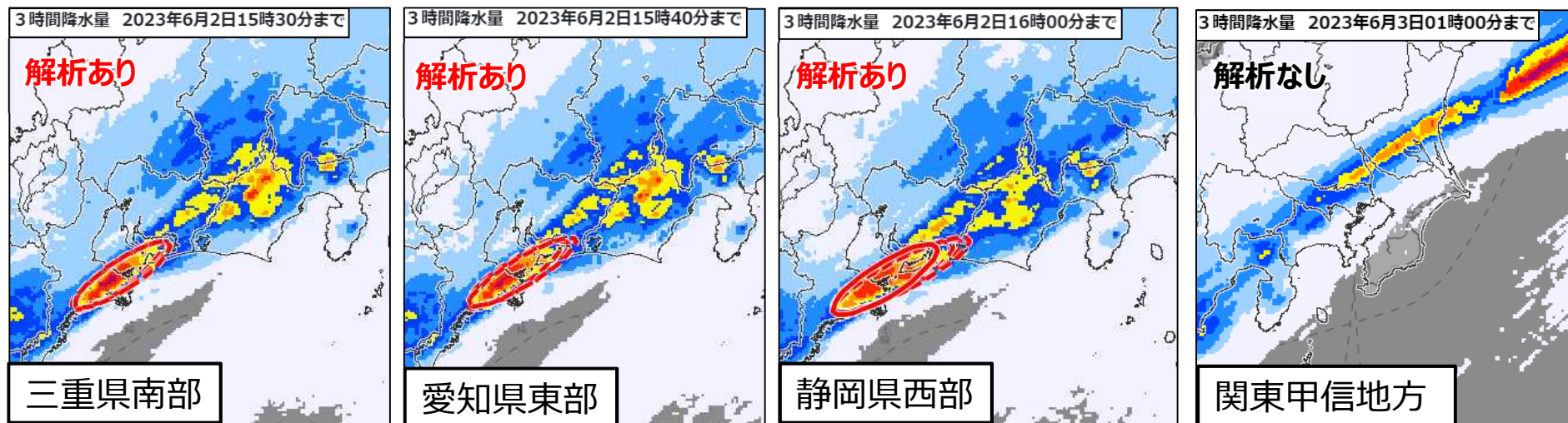


線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は**約200ミリ**

中国地方における3時間降水量の最大値は**約60ミリ**

線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は**約170ミリ**

線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は**約170ミリ**



線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は**約170ミリ**

線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は**約160ミリ**

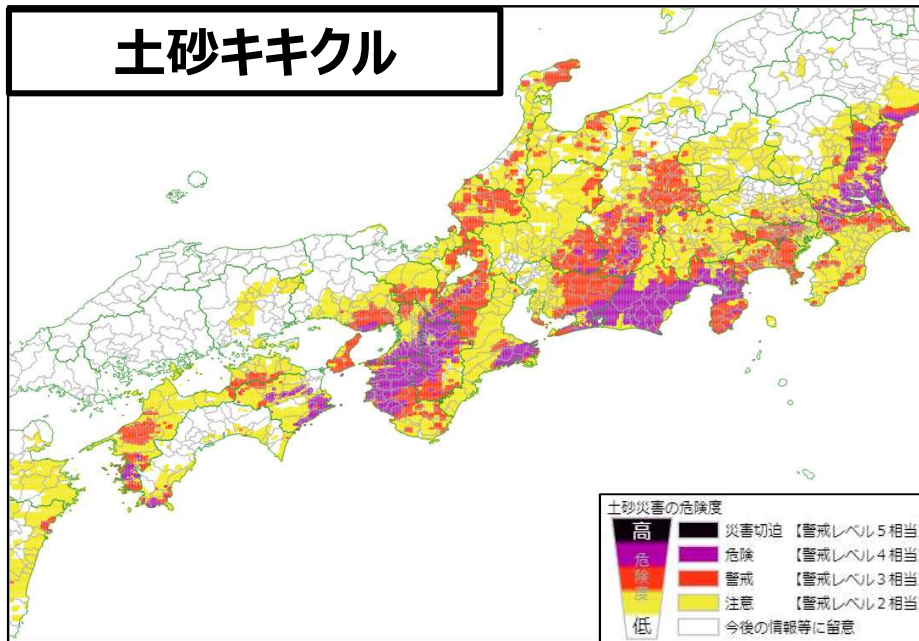
線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値は**約160ミリ**

関東甲信地方における3時間降水量の最大値は**約120ミリ**

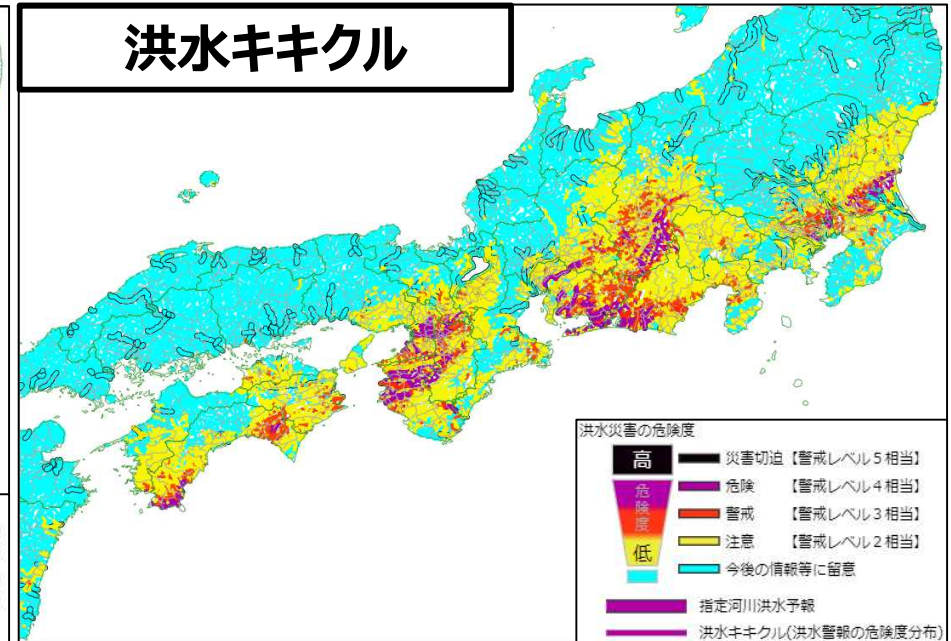
※ 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しなかった地方については「解析なし」とし、線状降水帯の雨域が当該地方に接近している時間帯又は期間中最も雨量が多かった時間帯の雨量の状況を表示している。

# (参考) キキクル (危険度分布) の状況

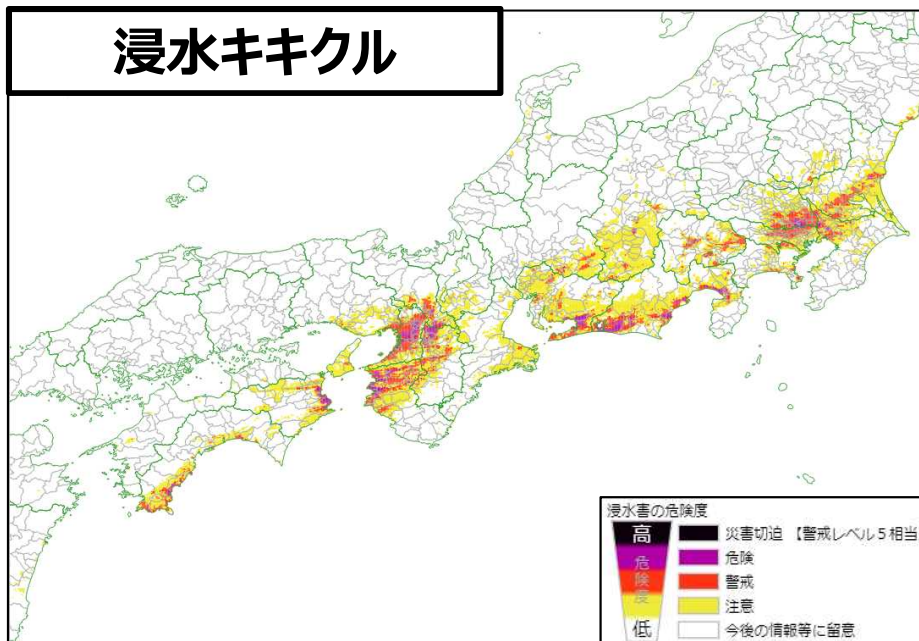
## 土砂キキクル



## 洪水キキクル



## 浸水キキクル



6月2日06時から3日06時にかけて出現した最大の危険度

- 西日本から東日本にかけての広い範囲に「危険」(紫)が広がった。

# 本資料について

- 本資料は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した事例、又は線状降水帯が発生した事例※について速報的にまとめた資料です。  
※「線状降水帯が発生した事例」とは、前出の「顕著な大雨に関する気象情報の発表基準」を満たした場合をいいます。
- 本検証資料は「大雨事例等における防災気象情報の精度検証と発表基準の改善」のページからアクセスできます。  
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jirei/index.html>
- 関連する情報は、「線状降水帯に関する各種情報」のページをご覧ください。  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho\\_senjokousuitai.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html)
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを、地方予報区単位で実施していることから、検証も地方予報区単位で実施し、同じ地方予報区でも時間がある程度あいた場合等は異なる事例として取り扱っています。ただし、ここに掲載する検証資料は、地方予報区をまたいで線状降水帯が発生した場合等に1つにまとめていることがあります。

現在の技術では、線状降水帯による大雨の正確な予測は難しく、呼びかけを実施しても必ずしも線状降水帯が発生するわけではありませんが、線状降水帯が発生しなくても大雨となる可能性は高いため、この情報が発表されたときには心構えを一段高めてください。

また、線状降水帯による大雨の呼びかけがなくても、線状降水帯が発生したり、災害をもたらすような大雨となったりすることがあるため、自治体が発令する避難情報や、大雨警報やキキクル等の段階的に発表される防災気象情報とあわせてご活用ください。